

NEWS RELEASE

2024年11月12日
首都圏新都市鉄道株式会社
国立大学法人筑波技術大学
日本放送協会
株式会社 JR東日本アイステーションズ手話CGによるつくばエクスプレス線の
運行情報配信の実証実験を実施します

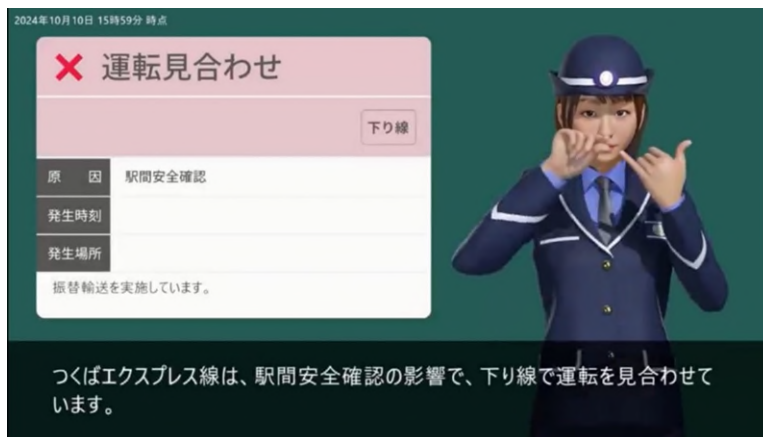
～全国初の手話CGを活用した公共交通機関による情報配信の取組み～

つくばエクスプレスを運営する首都圏新都市鉄道株式会社（代表取締役社長：渡邊 良、本社：東京都千代田区）、国立大学法人筑波技術大学（学長：石原 保志、茨城県つくば市）、日本放送協会（会長：稲葉 延雄、本部：東京都渋谷区、以下、NHK）、株式会社JR東日本アイステーションズ（代表取締役社長 筑波 伸夫、本社：東京都渋谷区）は、「手話CG動画※」を活用したつくばエクスプレス線の運行情報配信に関する実証実験を行います。

この実証実験は、聴覚障害者に対し、文字だけでなく手話でも鉄道の運行情報をご案内する試みです。手話CGを公共交通機関の情報配信として活用することは、全国初の取組みとなります。

鉄道各社局の運行情報配信業務を担っている株式会社JR東日本アイステーションズよりつくばエクスプレス線の運行情報が配信されると、NHKが保有する手話CG生成技術を利用して、列車の運行状況が、即時に手話CG動画として自動生成され、首都圏新都市鉄道株式会社のホームページに掲載されます。このシステムの導入により、聴覚障害者がよりスムーズに鉄道の運行情報を得られるようになると期待されています。

本実証実験で、手話CG動画の有用性を検証し、利用者から得られたフィードバックを、手話CGの精度向上をはじめ、今後のサービス内容の検討などに役立てます。実証実験の具体的な取組みについては別紙のとおりです。



手話CG動画（イメージ）

※手話 CG 動画とは、NHK が聴覚障害者への情報保障の1つとして研究開発を進めている、CG キャラクターが手話で情報を伝える動画です。現在、ウェブでの天気や防災情報等の配信で活用されています。

今回の実証実験を行うにあたり、首都圏新都市鉄道株式会社、国立大学法人筑波技術大学、NHK、株式会社JR東日本アイステ이션ズの4社は、「実証実験に関する連携協定」を締結しています。

首都圏新都市鉄道株式会社と国立大学法人筑波技術大学は、2022年4月、多様性に富む地域社会の形成・発展を推進することを目的として、連携協定を締結しています。

国立大学法人筑波技術大学とNHKは、2023年より、講義やワークショップを通じて聴覚障害のある学生とともに手話CGをはじめとした情報保障についての議論を継続して行っており、今回の実証実験の実施に至りました。

株式会社JR東日本アイステーションズは、全国の鉄道各社局の運行情報配信サービスを行っており、つくばエクスプレス線の運行情報配信を行っています。

以上

実証実験の概要

1. 名称：手話CG動画によるつくばエクスプレス線の運行情報配信に関する実証実験
2. 目的：手話CG動画による鉄道の運行情報配信の有用性を検証する。
3. 実施主体：首都圏新都市鉄道株式会社
国立大学法人筑波技術大学
日本放送協会
株式会社JR東日本アイステ이션ズ
4. 実証期間：2024年11月15日（金）10:00～2025年11月30日（日）17:00
5. 実験概要：NHKの手話CG生成システムを活用し、つくばエクスプレス線の運行情報を手話CG動画に変換し、首都圏新都市鉄道株式会社のホームページにて公開する。動画の視認性や内容の理解度等について、国立大学法人筑波技術大学の学生にアンケート調査を行った上検証し、実用性や課題の抽出を行う。導入については、今回の実証実験の結果をもとに検討を行う。
6. 配信場所：首都圏新都市鉄道株式会社公式ホームページ
URL：<http://www.mir.co.jp/feature/points/new/signlanguagecg.html>
※実証実験開始前にはご確認いただけませんので、ご注意ください。

以上